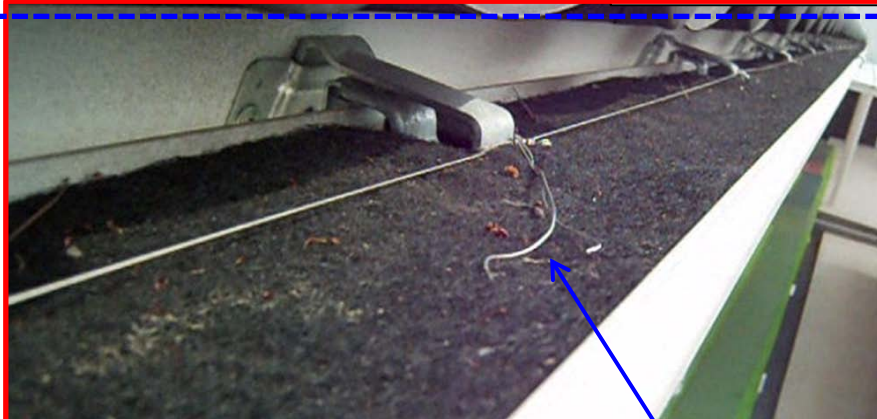
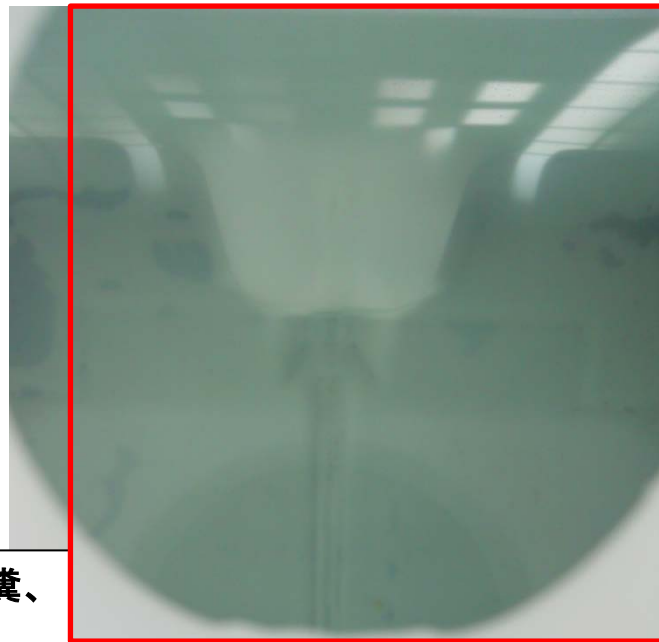


【添付資料⑧】 分別集水マット5年経過比較実験

- 1.試験実施日: 2010年03月05日 敷設
 - ・2012年11月03日
 - ・2013年09月14日
 - ・2015年05月23日 (5年経過)
 - ・2016年07月16日 (参考最新状態)
- 2.試験場所:千代田町中学校武道館
- 3.目的: a.5年間の分別能力の確認。
 - b.5年間の安定集排水能力の確認。
 - c.HDマット、カールマットの目詰りリスク、堆積状態の確認。
 - d.HDマット、カールマットの形状維持能力の確認。
- 4.試験方法 :分別集水マットノーメンテナンス5年経過観察
- 5.試験結果:a.b.c.dの経過観察:
 - a.5年間の分別能力の確認した。【P.2～P.6 赤枠写真】【 P.2～P.6 青枠写真】
 - ・集水口前に極細砂を超えるゴミは残り、流出口から極細砂を超えるゴミが混じらない水の排出を確認した。
 - b.5年間の安定集排水能力の確認した。【P.2～P.6 赤枠写真】
 - ・極細砂を超えるゴミを遮断し5年間の安定集水を確認した
 - c.HDマット、カールマットの目詰りリスク、堆積状態の確認した。【 P.2～P.6 青枠写真】
 - ・極細砂を超える堆積物無しを確認した
 - d.HDマット、カールマットの形状維持能力の確認した。【P.2.6 緑枠写真】
 - ・集排水断面空間形状の5年間維持を確認した。
- 6.考察:
 - ・安全率を見て下記仕様とメンテナンスを基準とする
 - ・軒樋のHDマット10mm×2枚とする。8年毎に交換を基準
 - ・雨水枡、U字溝のHDマットは1年1回の吸入メンテナンスを義務化。
 - ・HDマット10mm×2枚を標準化、5年毎に交換を基準
 - ・カールマットは損傷の無で10年継続可

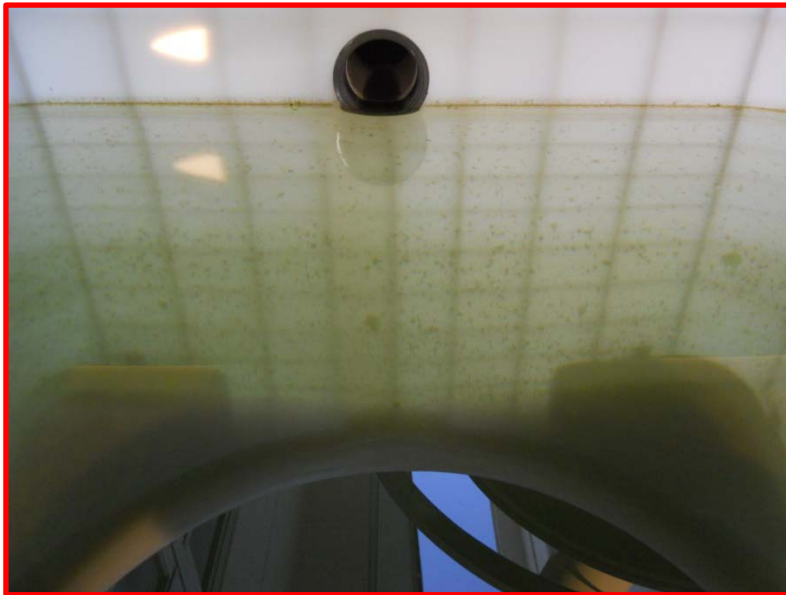


極めて小さなゴミや鳥の糞、
虫の死骸も入らない。



軒樋全てに分別集水マットを敷きつ
めてゴミの入るスペースを無くす。
マット内を雨水が通る事で粉塵の分
散とゴミとの再付着を無くす。





雨水貯留タンクの壁に、ア
オコが付着するも水は綺麗
で落ち葉、虫の死骸など確
認できない

粉塵と大きなゴミが何れ絡み合
い湿り気を持つようになると樋
詰りが起きる原因に成る。



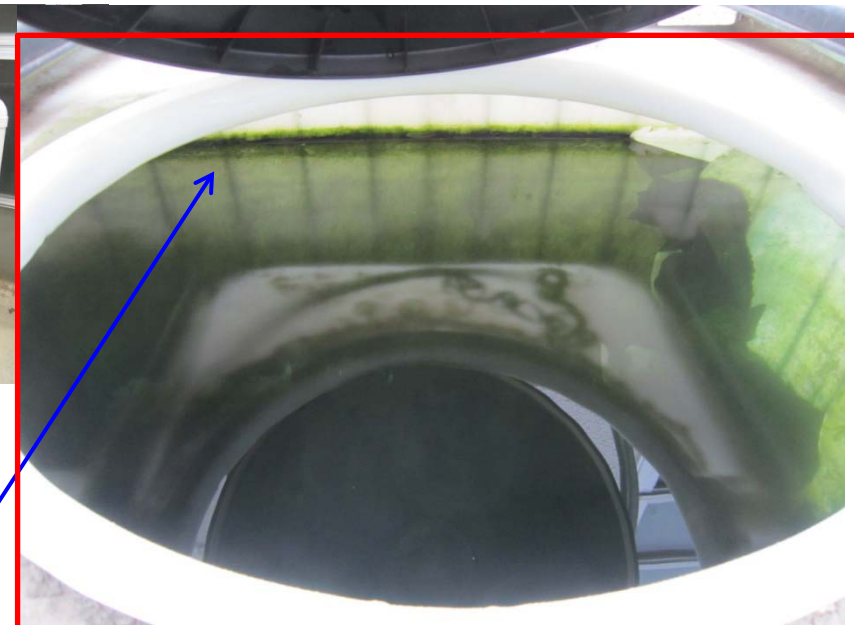
分別集水マット敷設樋は乾燥
と共にゴミは落下する。細砂
が雨落ち部分に堆積している





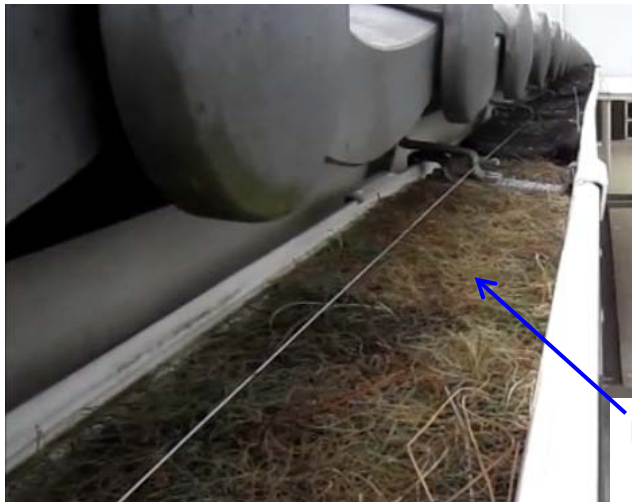
HDマットの一部剥がれている。鳥が、利用か？水槽にアオコが大量付着するも水は綺麗で落ち葉、虫の死骸など無い。

分別集水マットの敷設でゴミが入らず樋詰りの原因も無い。HDマットの表面が細砂の堆積と乾湿で形状が変化してきた。



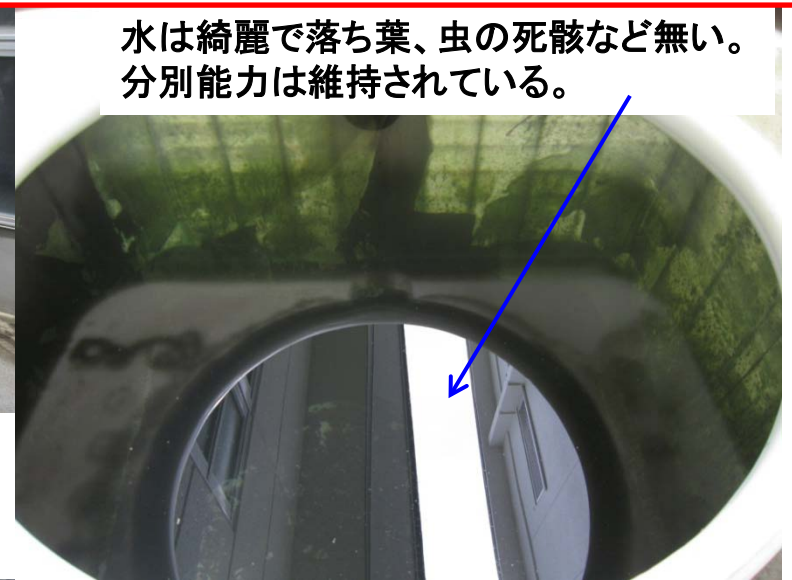
大きなゴミが極細砂を堰き止め降雨で湿り気を持つ更なる大きなゴミが付着し樋詰りの原因を作る ↓





HDマットの一剥がれて
いる部分のカールマット
は紫外線の影響で変色
してきた。

HDマットに付着した細砂が乾湿の
繰り返しで変形が出た。
5年ノンメンテナンスでも集水余力は
あったがU字溝や雨水枡ではHD
マットを5年交換とする。軒樋は8年。



水は綺麗で落ち葉、虫の死骸など無い。
分別能力は維持されている。

雨水が縦樋に入る集水器周辺に大雨と共に新
しいゴミが集まる。更なる樋詰りの原因です。↓

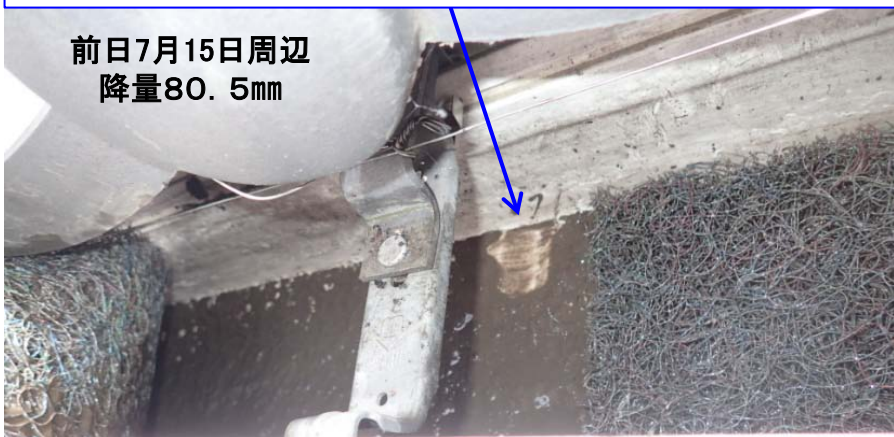


HDマットの極細砂を超える堆積の面積がおよそ60%
 成ったが集水能力に問題は無い。
 U字溝や雨水樹では1年1回の吸引メンテナンスで極
 細砂除去し能力維持。



流水層カールマットを上げると極細砂以下の堆積物を
 確認した。【但しHDマット1枚】

前日7月15日周辺
 降量80.5mm



堆積確認



水槽の壁にアオコが確認できるが、内部に落ち葉や虫
 の死骸は無く透明度も高く綺麗な状態。分別能力維持



軒樋1Mにシャトル約20個あり
 シャトル経費削減可能。



形状維持

カールマットは反発力もあり集排水断面空間形状を5
 年以上維持している。